

エターナリープロジェクトについて

木下達文

2021年度～2022年度にかけて、私のゼミナールでは「エターナリープロジェクト」という事業を実施しました。エターナリーとは「永遠」を意味します。今回のテーマは大きく「ゴミ問題」であり、いかにゴミを出さないかを考えるには永くものを使うということ（つまり「なるべく捨てない」こと）で、最終的に「SDGs×伝統産業」というコンセプトに集約されていきました。

最初は基礎研究をするとともに、それぞれが関心をもった商品等についてのフィールドワークを行うことで、より自分化してくことを試みました。その後、プロジェクトとしての最終目標をどこに置くのかという点で議論した結果、SDGsや伝統産業についてを広く認知させることを重視するということで「認知イベント」を実施することとなりました。そして2022年10月23日（日）に、「京都SDGs大作戦 ～大学生が提案するアップサイクル体験～」として、京都の街中である「ゼスト御池地下街・河原町広場」にて体験イベントを中心として、コラボ関係者とのミニトークセッションやフィールドワークでヒアリングした関係先のパネル展示を実施しました。夏休みを挟んだ関係もあり、準備がギリギリにならざるを得ませんでしたが、多くの参加者に恵まれ無事終えることができました。このサイトでは、学生がフィールドワークで調べた内容についてご紹介しています。

最後になりますが、本プロジェクトを推進するにあたって、学内外の多くの方々にお世話になりました。この場をお借りして、心より御礼申し上げる次第です。



お香専門店「尾張屋」



尾張屋さんの店内はこじんまりしており、ほのかにお香の落ち着く香りがしました。私は、仏壇用にお線香と自宅でリラックスするために「つきのわ」という渦巻き型のお香を購入しました。店主が、私の好きな香りを聞いて下さり、親切に色々な商品を試せるようにして下さいだったので好みの匂いを選ぶことが出来ました。ぜひ、皆さまも 尾張屋 に行ってみて下さいね。

(秋山佳穂)

お香専門店「尾張屋」

住所；京都市東山区新門前通大和大路東入西之町 201

電話：075-561-5027



商品「つきのわ」



「お店の外観」



「商品」

京念珠「京念珠神戸数珠店」



「使う方に喜んでいただける数珠」京念珠神戸数珠店様について、ご紹介します！
神戸数珠店は「こうべ」ではなく、「かんべ」と読みます！「思いをカタチに」ということを大切にしており、作り手、買い手の思いをカタチにしています。写真の「一凜」はおしゃれにデザインされつつ、本来の数珠としても使うことができます。是非、大切な人へのプレゼントに！
(石田莉央)

京念珠「京念珠神戸数珠店」

住所：〒600-8153 京都府京都市下京区甘人講町 25

電話：075-371-3929

HP：<https://www.kyoto-kanbejuzu.co.jp/>



(店内の様子と他の商品)

金属工芸品「清課堂」



錫器・銀器・各種金属工芸品の専門店である清課堂(せいかどう)さん。
清課堂さんは、多種多様の金属工芸品を展示・販売しておられ、食・酒・茶・花・香・文房具といった様々な用途で使うことができます。
錫、銀製品は、永く使い込むうちに独特の風合い・味わいが出てくることで、時代を経てまとう侘び・寂びの美しさを楽しむことができます。(井上千鶴)

「清課堂」

住所：〒604-0932 京都市中京区寺町通二条下る妙満寺前町 462

電話：075-231-3661



お店の看板



店内の様子



店内の様子

信楽焼「山上陶器、陶堂館」



陶堂館では、あらゆる信楽焼の製品を展示販売しています。食器や花器、置物をはじめ、庭園陶器、植木鉢、茶道具まで、信楽焼の製品なら何から何まで揃います。3万点を超える展示数は信楽でもトップクラスを誇り、大正時代の技法を駆使した古信楽の逸品など名作品も数多く展示してあります。

(井上博登)

山上陶器、陶堂館

住所：〒529-1836 滋賀県甲賀市信楽町柞原 170

電話：0748-82-0770



京都の風呂敷「山田繊維株式会社、むす美」



山田繊維様は、京都の地で風呂敷製造卸売業として創業しました。今では数少なくなった「ふろしき専門メーカー」として、日本の心が育んできた「ふろしき」という美意識を、進化し続ける生きた文化として、世代を超えて伝える事こそ、使命と考え、商品開発と共に普及活動に取り組んでいます。

(井上博登)

本社所在地	〒604-0031 京都市中京区新町通二条南入ル
TEL (代表)	075-256-0123
むす美 京都	〒604-8111 京都市中京区三条通堺町東入栴屋町 67
TEL	075-212-7222



清水焼「山亀」



京都市山科区の清水焼団地で清水焼を販売している山亀さんを紹介していきます。ここで売っている食器や箸置きは種類が豊富にあり、なんと箸置きは 300 種類以上の豊富な品揃えが揃っています。また山亀さんは卸売りを営んでいますが梱包された完成品を仕入れ在庫し各小売店へ売り渡すというイメージを持たれがちですが清水焼の卸売業はそれだけではなく、職人とデザインの相談や色絵の依頼、商品の検品、在庫、器の底の研磨(テーブルを傷付けない為)等メーカーのような業務も卸売業が担っております。ぜひ参考になさってください。

(尾山優)

清水焼「山亀」 住所；〒607 - 8322 京都市山科区川田清水焼団地町 5 - 14

電話；075 - 593 - 1131 HP；<http://yamakame.co.jp/>



店内の様子



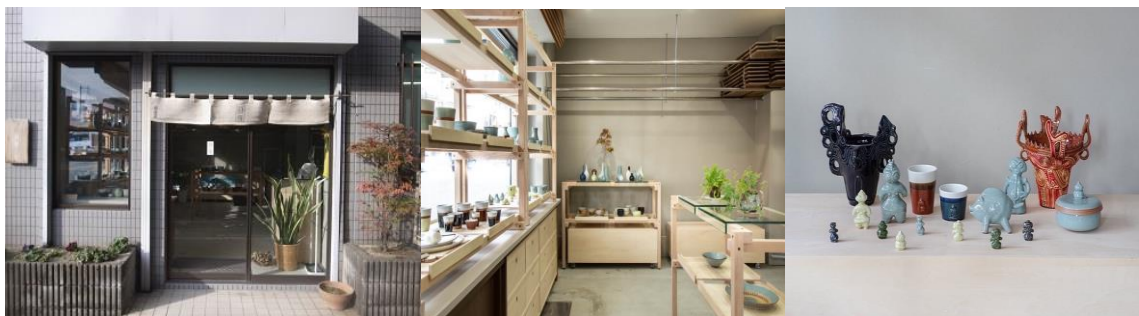
店内の様子

京焼「蘇隆窯」



京焼「蘇隆窯（そりゅうがま）」さんの特徴は、青瓷（せいじ）色の陶器を作られているということです。「練り込み青瓷」という技術を用いて作られており、この技術は明治大正期から4代にわたって受け継がれています。また、ネックレスやピアスといったアクセサリーや、縄文土器のような青瓷以外の物も製作されているので、少しでも興味を持った方は、是非「蘇隆窯」を訪れてみてください！
(川島翔)

京焼「蘇隆窯」 住所：〒605-0862 京都市東山区清水4丁目170-22
電話：075-561-8004 HP：<https://soryu-gama.com/>



お店の外観

店内の様子

縄文土器

京象嵌 「中嶋象嵌」



京都市右京区で京象嵌にまつわる製品を製造・販売をしている中嶋象嵌さんをご紹介します。京象嵌は手作り工芸の中でも緻密な技術が必要となります。その中でも、「布目象嵌（ぬのめぞうがん）」という技法があり、これは地金の表面にタガネという専門の鑿（のみ）を使って細かい刻みを入れ、その溝に金や銀を打ち込む作業をするものです。縦・横に敷き詰められた溝が布目のように見えることから「布目象嵌」と呼ばれています。（桑原優大）

株式会社中嶋象嵌

住所：〒616-8376 京都市右京区嵯峨天竜寺瀬戸川町 10 の 3

電話：075-871-2610

H P： <https://www.nakajima-zougan.jp>



清水焼 「NIEI」



清水焼のお店「NIEI」さんについて紹介させていただきます！

NIEIさんは、女性の伝統工芸士4人で清水焼を作られており、女性ならではのデザインもあり、とても可愛いです♡清水焼ときけば、高価なイメージがあると思いますが、NIEIさんでは、若者にも手に取って欲しいという思いから、通常よりも安価で、清水焼を購入することができます！興味のある方は是非足を運んでみてください。（塩見わかば）

伝統工芸士 丹影

〒605-0013 京都府京都市東山区東大路三条下る南西海子町 434-5

TEL：075-531-7930



展示された商品

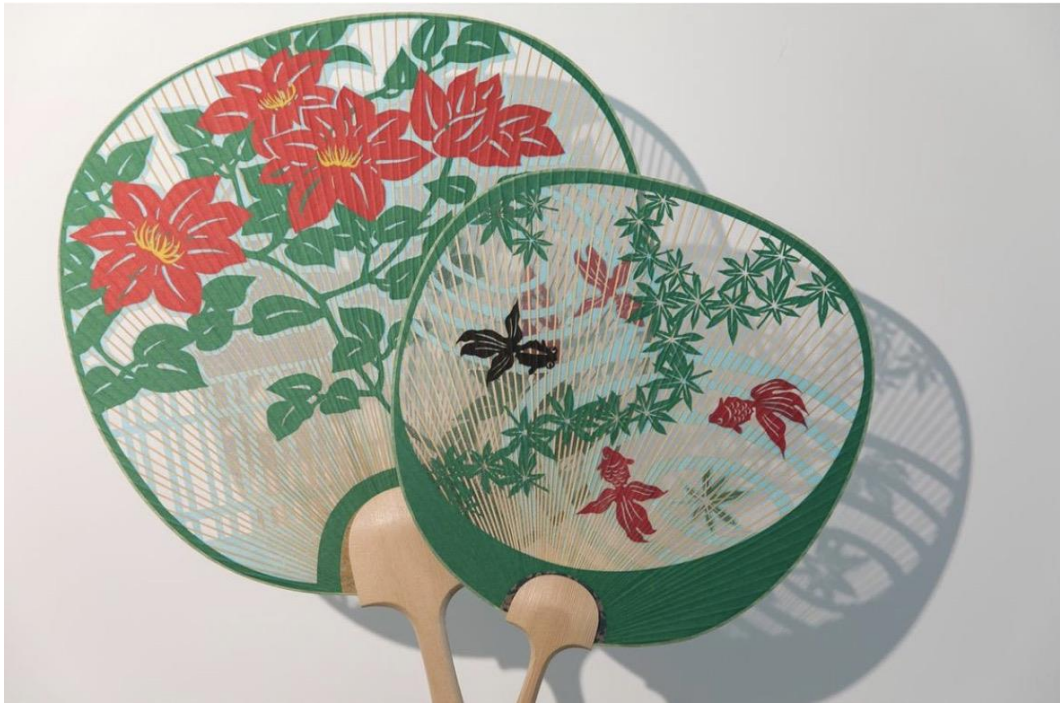


店内の様子



コップ

京うちわ「塩見団扇」



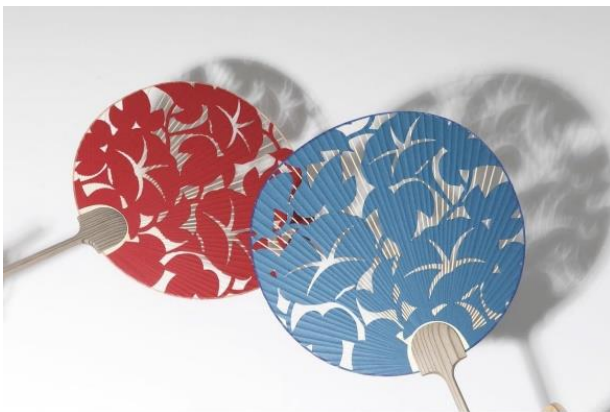
塩見団扇さんは、京都にて1944年以来京うちわを作り続けておられ、様々な技術を活かし、現代感覚にふさわしい美を追求されています！団扇面と把手が別に作られ、細い骨を一本ずつ放射線にならべて、あとから柄をつけた「差し柄」の構造になっているのが大きな特徴です！

(田中涼子)

塩見団扇

住所：〒607—8258 京都府京都市山科区小野西浦 24—3

電話：075—571—7515 <https://www.kyoto-fan.co.jp/>



京うちわ



作業の様子

帷縫製所



帷縫製所さんは、現在国内で減少している縫製に携わる人も育てる場を作りたいという思いから立ち上げられました。洋裁、和裁にこだわらない縫製を取り入れ、よりオリジナル性の高い商品作りに対応し、縫製における時代の担い手となる縫製スタッフを育成されています！

(田中涼子)

帷縫製所 住所：〒606-8323 京都市左京区聖護院円頓美町 17

京都ハンディクラフトセンター 西館 4F

電話：075-752-3012

H P : <https://tobari-sewing.com/>



作業の様子



作業現場

タイヨウネクタイ



この写真は京都市上京区に拠点を構える「タイヨウネクタイ（代表：松田 梓）」さんの西陣織ネクタイです。西陣織の特徴の一つとして、生地を先染めしてから織っているため、一般的な染色方法である後染めよりも丈夫で、シワになりにくいという点があります。そのため、長く使い続けるという視点からはまさにぴったりのネクタイです。ぜひ参考にしてみてください。

（中村凌大）

タイヨウネクタイ株式会社

住所：602-0019 京都市上京区衣棚通寺之内上る下木下町 155 番地

電話：075-441-2861 FAX 075-432-6258



店内の様子



新たな取り組みの猫首輪

手捺染「鷺野染工場」



職人の鷺野さんは、傘や服やシャツなどに使用する洋装の生地をメインに、型を使った手捺染（てなっせん：ハンドプリント）にこだわって活動されています。鷺野さんの代表的な作品となるのが、「錯視図形」のプリントです。これは型や糊へのこだわりと鷺野さんの長年の経験による高度な技術により生まれた作品です。また、鷺野さんによる web 連載「たった一人の染工場」が灯光舎さんにて掲載されています。染める仕事の現状から錯視図形のプリントのエピソードまで、鷺野さんの熱い思いが書かれているので、是非こちらもチェックして下さい！

（西川心太郎）

鷺野染工場 住所：〒606-8183 京都府京都市左京区一乗寺大新開町4-3
電話：075-721-5611 HP：<https://washino-print.com/>



作業の様子



鷺野さんの手捺染体験の作品

竹製品「公長斎小菅」



公長斎小菅さんは、古くから利用されている「竹」という素材を、今の時代に馴染むよう進化を遂げた商品を数多く取り扱っているお店です。店内は、竹から感じる自然のパワーから、非常に落ち着き、とても温かみのある空間です。是非一度、竹製品を購入し、自然独自の温かみに触れてみてください。

(松田歩佳)

公長斎小菅京都本店

住所：〒604-8004 京都市中京区中島町 74 ザ ロイヤルパークホテル 京都三条 1F



店内の様子

金彩のコースター「takenaka kinsai」



写真のコースターは、京都の伝統工芸「金彩」の技術を用いた商品を製造しているお店「takenaka kinsai」さんで購入したものです。「金彩」とは、金や銀などの箔・金属粉を糊で接着し、生地加工する装飾のことで繊細ながらも瑞々しくきらびやかな美しさが特徴です。これまで着物に多く使われてきた伝統工芸の技術をコースターやガラスマーカー、リフレクターなどの身近なアイテムに展開して販売をされております。
(宮野由莉奈)

「takenaka kinsai」

住所：〒616-8414 京都市右京区嵯峨大覚寺門前八軒町 20-12

電話：075-871-4635 HP：<http://takenaka-kinsai.jp>



ガラスマーカー



リフレクター

京扇子「大むら」



写真の扇子は、山科にお店をかまえる「大むら（代表：大村豪（豪阿弥）」さんで私が購入したものです。骨の部分は京都の竹を、紙は土佐の和紙が使用されています。ちなみに、絵は手書きです。このお店の特徴は、フルメンテナンスに対応しているという点です。大事に使えば一生使うことができるわけです。京扇子を見分けるため、現在では「京」の漢字をモチーフとした「京扇子マーク」（タグ）がつけられていますので、参考にしてみてください。（木下達文）

京扇子「大むら」 住所：〒607-8481 京都市山科区北花山中道町 35-20
電話：075-581-5550 HP：<https://www.kyofuan.com>



お店の外観



店内の様子



京扇子マーク